

福岡歯科大学長就任のご挨拶



福岡歯科大学
学長 高橋 裕 (3期)

平成30年2月1日付けで第11代福岡歯科大学長に就任をいたしました3期生の高橋です。福岡歯科大学は西日本唯一の私立歯科大学であり、創立45周年が過ぎ、4,438人の卒業生を輩出しています。この福岡歯科大学の学長を務めさせていただくことは光栄であり、責任の重さに身の引き締まる思いがいたします。

私は昭和50年(1975年)に入学しました。卒業後は本学に残り、助手、講師、助教授を経て、平成15年(2003年)から咬合修復学講座有床義歯学分野の教授を務め、主に有床義歯補綴学の教育、診療、研究に携わってきました。

入学から現在までの43年間、私は福岡歯科大学を見してきました。この間いろいろなことがありました。良い時もあり、つらい時もありました。今日の私立歯科大学は少子化、歯科医師需給問題等で大変厳しい状況にあります。しかし、このような時代だからこそ、本学は社会から信頼される大学として将来に活路を見いだす必要があります。

本学には、素直で優しい学生が昔から多いように感じています。このような学生を穏やかな学生に育て、歯科医学の専門教育を行って有能な歯科医師に育てたいと思っています。そして、多くの歯科医師を本学から送り出すことができれば、福岡歯科大学は学生にとって「夢が実現する大学」になります。また、教員は皆さん教育熱心で協力的です。いろいろな工夫をしながら教育し学生と接しています。学生を、医局員を、そして後輩を教え育てる、「人を育てる大学」にしたいと考えています。

来る2022年には福岡歯科大学は創立50周年を迎えます。現在、福岡歯科大学医科歯科総合病院の建替え準備

中で2020年の秋に新病院の開院を予定しており、「福岡学園・福岡歯科大学創立50周年記念講堂(仮称)」も2022年の完成に向けて計画中です。大学はこれからも発展を続け、歯科医学を通じて社会に貢献できる大学であり続けるように努めます。

同窓生の皆様には、大学、学生そして教職員に対しまして、母親のような大きな心で、これからも今まで以上にご支援をいただきましたら幸いです。最後になりますが、先日、同窓会で就任祝賀会を開催していただきまして誠にありがとうございました。心より御礼を申し上げます。

【略歴】

- S56. 3 福岡歯科大学歯学部卒業
- S56. 4 福岡歯科大学特別研究生 (S56. 12まで)
- S57. 1 福岡歯科大学助手 (H2. 3まで)
- H1. 7 歯学博士
- H2. 4 福岡歯科大学講師 (H9. 12まで)
- H8. 4 ノースウェスタン大学歯学部
Visiting Assistant Professor (H9. 3まで)
- H10. 1 福岡歯科大学助教授 (H15. 2まで)
- H11. 4 福岡歯科大学同窓会理事 (H16. 3まで)
- H15. 3 福岡歯科大学教授 (H30. 1まで)
- H16. 4 福岡歯科大学同窓会顧問 (現在に至る)
- H17. 8 学校法人福岡学園評議員 (現在に至る)
- H25. 4 福岡歯科大学学生部長 (H27. 3まで)
- H28. 4 福岡歯科大学医科歯科総合病院副院長 (H30. 1まで)
- H30. 2 福岡歯科大学長・学校法人福岡学園理事 (現在に至る)



高橋 裕 先生 福岡歯科大学長就任祝賀会
2018. 4. 14 西鉄グランドホテル

平成29年度第40回定時総会・特別講演会 高橋 裕先生福岡歯科大学長就任祝賀懇親会



口腔医療センター（同窓会理事）
講師 津江 文武（25期）

晩夏の候、同窓会会員の皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。

去る平成30年6月2日、ANAクラウンプラザホテル福岡にて福岡歯科大学同窓会平成29年度第40回定時総会が開催されました。平成30年2月に第11代福岡歯科大学長に就任された本学3期生の高橋 裕先生と学校法人福岡学園理事長 水田 祥代先生のお二方を講師にお招きし、高橋先生からは『福岡歯科大学創立50周年に向けて』、水田先生からは『学校法人福岡学園 福岡歯科大学創立50周年に向けて』との演題で、それぞれご講演を賜りました。

高橋先生は、先日4月15日に同窓会が主催したご自身の祝賀会についてお礼を述べられた後、本学ご入学以来43年間、学園の定点観測を行ってきた実績を背景に、現在の大学の様子や学内に導入された最新設備、40年の間に様変わりした周辺地域、増設されてきた大学関連施設などを紹介しつつ、本学が直面してきた光と影の部分についても触れながら、大学の歴史を振り返られました。

また、混迷を極める歯科医師国家試験に関する諸問題とその対策、本学学生の特徴をよく捉えたうえでの教育的ソリューションについてもご自身のお考えを表明されました。

ともすると、無機質な数字の羅列で退屈になりがちなテーマにも関わらず、ユーモアとメリハリに富んだ分かりやすいご講演は、高橋先生の温かい人柄を感じさせるもので、新学長就任に期待と不安



が入り混じる思いで聴講していた同窓の先生方に、大きな信頼感と安堵感をもたらす内容であったと確信致しました。

一方、水田先生には、2020年10月の開院を目指し工事が始まった新病院について、ブルーを基調色とした清潔感溢れる新病院完成予想図や、各診療科・各施設の配置が記載された設計図を交えつつ、その概要をご説明していただきました。また、新病院建設工事着工に先立って行われた本学グラウンド整備とその状況や、2022年に落成を予定している創立50周年記念講堂についても具体的なイメージをご提示していただきました。

新病院建設は、福岡学園第二次中期構想においてその意思が示されながらも、長らく全貌が明らかにされずにいた項目の一つでしたが、水田先生が理事長に就任後3年数か月の間に、にわかには具体性と現実味を帯びてきた計画であると認識しております。演台を前にご講演されるお姿からは、立ち塞がる諸問題を迷いなく切り開き、ピンピン陣頭指揮を執られている日々のご様子が容易に想像されましたし、それでいて本学の学生教育に関しては、穏やかな人間性を備えた歯科医師育成を望まれるなど、経営一辺倒でない水田先生の医療人・大学人としてのお考えが随所に垣間見えるご講演でした。

特別講演会の後は、「高橋 裕先生福岡歯科大学長就任祝賀懇親会」が催され、多くの諸先生方の歓びに満ちたご挨拶や温かいご祝辞に包まれながら、盛況のうちに幕を閉じました。

お二人の先生がこの日の講演会を通じて福岡学園の未来に希望の光を投げられたことは、我々同窓生にとって強く励まされる出来事であり、第40回定時総会が記念すべき素晴らしい会となったのも、学園のキーパーソンであるお二人の尽力の賜物であったことを、ここにご報告させていただきます。

高橋先生大学長就任によせて



奈良市開業
上林 融（3期）

高橋 裕先生、大学長就任おめでとうございます。

高橋先生と同期で、下宿時代から一緒に過ごした私たちは、大学卒業後、高橋先生は補綴学教室Ⅰ、私は保存学教室Ⅰに入局しました。保存・補綴と関連した分野での日々、共に診療に取り組み、研究に力を注ぎ、そして語り合い、二人とも当時は本当にながむしゃらに仕事をしていました。

その後、平成元年に学位記乙2号と3号を二人並んで授与され、同年二人揃って講師へと昇格しました。保存から補綴へ、“上林・高橋”の流れで患者さんを信頼して送ってきたあの頃。自信と責任を持って質の高い仕事をする、という基本ができたのも彼の存在のおかげであったと思います。10年後、高橋先生は留学し、私は出身の奈良に戻って開業。それぞれの道を選びました。

留学を終えて数年後、彼が教授になったと聞いた時は、まるで自分のことのように嬉しかったことを覚えています。そして、今回、学長に就任したと聞き、その気持ちに驚きと尊敬が加わりました。臨床医としても、学術研究においても、出身大学の中での存在としても、このように素晴らしい実績を積んできた彼は、我々同期、卒業生の誇りであります。

我が大学は、入学した時は歯科の単科大学でしたが、今や総合型の大学へと発展しています。その中で、同窓生から教授第一号、そして学長へ、素晴らしいことです。

これからは、新たな立場で、忙しく責任の重い毎日が続くことと思いますが、福岡歯科大学の更なる発展のため、ぜひ頑張ってくださいたく、同窓生の一人としていろいろな面での協力を約束いたします。そして、友人としては、くれぐれも体に気をつけて欲しい。

高橋新学長のますますの活躍を願っております。

同窓生対象オープンキャンパスに参加して



北九州開業
三好 弘造（17期）

平成30年6月3日(日)同窓生を対象とした、オープンキャンパスに参加させていただきました。

学園周辺は近年、都市高速環状線や、外環状道路等の整備により、周辺地域からのアクセスも良くなり、利便性も向上しています。学園施設は、医科歯科総合病院を核として、口腔医療センター、介護保険施設、歯科大学、看護大学、医療短期大学、保育園が併設されており、高校とは違った大学の規模の大きさに少々緊張気味の息子を隣に見ながら、此方も身が引き締まる思いでした。

開会の後、水田祥代理事長、高橋 裕学長、岡部幸司学生部長より大学の概況、入学試験の概要等の説明をしていただきました。平成30年度の入試から導入される「スタート支援特待生制度」や「実践的な入学前教育SA（スチューデント・アシスタント）制度」は特に注目すべき項目です。

施設内見学では、多数の診療台が整然と並ぶ広大な総合診療室や、CT、MRI撮影装置が設置された放射線診断科等を見学し、実習室では患者型ロボットを見学しました。日頃見慣れている一般歯科診療所とは全く異なる大規模で充実した設備を見学し、機材の詳細は分からずとも、真剣に見入っていました。

昼食会では、岡部幸司学生部長と同席させていただきました。昼食終了後には参加保護者は出席教員と、参加学生は在学生とに分かれて懇談会が行われ、親子共に有意義な時間を過ごす事ができました。



模擬実習では、実習室でのインプラントコンピューターシミュレーション実習を行い、近年身近になったインプラントに興味を持ったようです。

その後、小論文の概要、面接の概要の各々について詳細に説明をしていただきました。

今回のオープンキャンパスに参加し、施設を見学する事により、進学先の選択肢の1つとして考えるようになったようです。これを機に準備を進めて、入学試験に挑んでもらいたいものです。

最後になりますが、オープンキャンパスを企画していただいた教職員の皆様、同窓会役員の皆様、多忙なカリキュラムの中、休日にも関わらずお手伝いしていただいた在学生の皆さんに感謝申し上げます。



ました。続いて、病院棟の見学ではデジタル印象やCAD/CAMについての説明がありました。CAD/CAMについては以前から知っていたのですが、デジタル印象については今回初めて知り、とても驚いたのと同時に、後期に実習を行うとのことで後期の登院実習への期待が高まりました。

昼食は豪華なお弁当を教職員の先生方も交えて気軽に会話しながらいただきました。その後、受験者と私たち在学生のみでの懇話会の時間があり、日頃の学生生活や部活動について和気藹々とした雰囲気でお話していました。

昼食後はインプラント実習の体験を行い、最後に小論文・面接の概要について説明が行われました。面接に関しては、在学生が模擬面接を実際に行い注意点についてわかりやすく説明していました。

私自身オープンキャンパスに初めて参加致しましたが、学校の雰囲気を知ることにもとても良い機会だと感じました。皆さんも進路を考えられる際は一度参加されてみてはいかがでしょうか。私たち在校生は後輩となるあなた方受験生の参加をお待ちしております。

福岡歯科大学オープンキャンパスの紹介



佐久間有穂（5年生）

私は現在5年生で登院実習を日々行っており、登院実習のことや学校生活について参加者に説明するために、福岡歯科大学同窓生対象のオープンキャンパスにお手伝いとして参加させて頂きました。

さて、午前10時いよいよオープンキャンパスが始まりました。水田理事長の厳粛な挨拶に続き、岡部学生部長より大学の概況や入学試験の概要について詳しく説明された後は、施設見学を図書館から病院棟の順で行いました。図書館見学の際、保護者の方々は学生時代を思い出されて懐かしい気持ちになったと口々にされていました。また、尾崎教授が開発に携わっておられる患者型ロボットがあるシミュレーション実習室では、私たち在校生も患者ロボットが稼働しているところは初めて見たので、嘔吐反射がでたり採血を実際に行うことができるロボットに大変興味を引かれ、後期から行う患者型ロボットを用いた実習が楽しみになり

ご逝去のお知らせ

木村 進 先生	1期	山 口	2018/02/20	逝去
松岡 徳康 先生	20期	福岡西	2018/03/04	逝去
野澤 英世 先生	18期	福岡西	2018/04/03	逝去
井上 康規 先生	1期	福岡西	2018/04/07	逝去
萩尾 一俊 先生	3期	長 崎	2018/04/19	逝去
牛嶋 英人 先生	18期	福岡南	2018/05/01	逝去
遠藤 享志 先生	3期	島 根	2018/05/21	逝去
吉木 朋道 先生	1期	福岡南	2018/06/26	逝去

自然災害発生による見舞金の募集について

大阪北部で6月18日に震度6の「平成30年大阪府北部地震」が発生しました。その後、6月28日～7月8日かけて西日本を中心とした「平成30年7月豪雨」が発生し、観測史上最大の雨量を記録し「激甚災害」に指定されました。

現在、報告では10～15名程の同窓生が被災し、その内、広島県の2名の方は甚大な被害で困難を極めています。本同窓会では今後も被災状況を収集すると共に、口座を設置し見舞金の募集をすることになりました。寄せられた見舞金は、地域の同窓会を介して被災された同窓会員へ配布し、同窓会誌並びに総会等にてご報告いたします。皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願い致します。

○ 金融機関：郵便振替 01780-8-100413

○ 一 口：3,000円

○ □ 座 名：福岡歯科大学同窓会（フクオカシカダイガクドウソウカイ）

○ 募集期限：平成30年9月30日迄